

自立活動学習指導案

1 日時 平成〇年〇月〇日(〇) 14:05~14:50

2 場所 〇〇学級教室

3 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級
第6学年3名、第5学年2名 計5名

4 単元名 「お楽しみ会をしよう」

5 単元設定の理由

○ 本学級の児童は、学校生活に見通しをもち、学習にも落ち着いて取り組む様子が見られる。児童同士の関わりは多く、休憩時間だけでなく、放課後や休日にも一緒に遊んでいることが日々の会話や絵日記から分かる。しかし、友達に対して一方的な関わりやそこでのトラブルが見られる児童がいたり、基本的に受け身で自分の思いや考えを表現しにくい児童もいたりするため、教師の支援を必要とする場面が多く見られる。また、周囲の状況を見て自分の役割を考えて行動することや、物事を最後までやり遂げることが課題である。児童の人間関係づくりや社会性を育てていくことが必要である。

○ 児童の実態を踏まえた上で、本学級では、対人関係を円滑にし、集団参加の基礎を培う観点から自立活動の授業を行っている。

今年度は、本学級が高学年5名で構成されていることもあり、複数の特別支援学級をまとめる役割を多く設定し、実際に経験してきている。(当番活動、1年生の歓迎会、学級紹介、連合野外活動など。)昨年度から、話し合い活動を通して、役割を決めて自分の役割をやり遂げることもできるようになってきた。また、希望が重なった時には友達に譲ったり譲られたりする経験もしてきている。

本単元は、夏休み前のお楽しみ会に向けて、みんなで楽しく遊べるゲームを考えることを通して自分の考えを話したり、友達の考えを聞いて全員の意見を一つにまとめたりすることができる題材である。

○ 指導に当たっては、児童の考えを板書して目で見て分かるようにし、児童の考えの良い所を全体に広げていきたい。

ゲーム決めでは、児童が提案したゲームが、教師が提示した条件に合っているかどうかをその都度確認しながら話し合いを進めていきたい。また、ゲームの運営に見通しがもてるように、役割を決めて事前のリハーサルも行いたい。

6 単元の目標

- コミュニケーションの基礎的な能力を高める。
- 他者の意図や感情を理解して、行動する。

7 指導計画(5時間扱い)

- 第1次 みんなで楽しめる遊びを考える。……1時間(本時)
ゲームの運営を考え、リハーサルをする。……1時間
- 第2次 会をする①「カラオケ編」……1時間
会をする②「ゲーム編」……1時間
- 第3次 会について振り返る。……1時間

8 本時の目標

- 自立活動 2 心理的な安定 (2)状況の理解と変化への対応に関すること
- 3 人間関係の形成 (2)他者の意図や感情の理解に関すること
(3)自己の理解と行動の調整に関すること

A児	○ みんなで楽しく遊べるゲームを提案したり、自分や友達の考えを発表したりする。
B児	○ 友達との話し合いを通して、みんなで楽しく遊べるゲームを提案したり、自分の考えを発表したりする。
C児	○ 友達との話し合いを通して、みんなで楽しく遊べるゲームを提案したり、自分の考えを発表したりする。
D児	○ 条件に照らし合わせて、みんなで楽しく遊べるゲームを考えたり、選択したりする。
E児	○ 条件に照らし合わせて、みんなで楽しく遊べるゲームを考えたり、選択したりする。

9 学習過程 別紙

10 教室内の配置図

